

第2回常陸川水門魚道試験運用検討会

実施日：平成30年3月2日(金) 14:00~15:30

場 所：霞ヶ浦河川事務所 水管理棟第2、第3会議室

出席者：元筑波大教授 前田 修、山梨大学教授 宮崎 淳一、茨城県水産試験場内水面支場長 土屋 圭巳、きたうら広域漁業協同組合代表理事組合長 海老澤 武美、霞ヶ浦漁業協同組合代表理事組合長 薄井 征記、常陸川漁業協同組合代表理事組合長 保立 達夫、国土交通省霞ヶ浦河川事務所長 辰野 剛志

オブザーバー：茨城県生活環境部水環境室長（代理）、茨城県農林水産部水産振興課主査（代理）、茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所振興課長（代理）

(1) 開催状況



(2) 検討会内容

- ・ 検討会の規約の修正について
- ・ 第1回検討会の開催概要報告
- ・ モニタリング調査の経緯、結果について
- ・ 水門魚道操作手順（案）について

(3) 検討結果

- ・ 検討会の規約の目的、組織等に位置付けされている「常陸川水門魚道操作規則」を「操作手順」に変更することについて了承した。
- ・ 常陸川水門魚道におけるH28年度までのモニタリング調査結果を確認した。また、魚道の施設改良に関する説明を受け、水門魚道操作手順（案）を了承した。

(4) 主な意見等

- ・ 潮が止まる時間を確認し、塩分の影響がない範囲でゲートを少しでも上げられないか検討してほしい。
- ・ 魚道の効果を明らかにするため、常陸川水門の下流と上流に生息する魚種の分布状況を整理してほしい。